



中 田 小

令和8年6月30日

学校教育目標

さわやか笑顔 中田っ子

～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～

中田小ホームページ

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakada/>

子どもたちの学びを見つめて

校長 荒井 智津子

土曜参観は、子どもたちの学びを家庭や地域と分かち合い、その成長を支えていくための大切な機会ととらえています。今年度は昨年を大きく上回る延べ 1075 名の皆様にご来校いただき、子どもたちを取り巻く支えの輪がいつそう広がっていることを実感しました。

廊下では、保護者の皆様から「こんにちは」と穏やかに声をかけていただきました。行き交う中で交わされるこうした言葉に、日頃から学校を支えてくださる温かなまなざしを感じました。

各学年では、対話的な活動やじっくりと考えて取り組む姿など、子どもたちの多様な学びの様子をご観いただきました。

昨年に続き、4・6年生の情報モラル学習では講師をお招きし、児童と保護者が同じ視点で学ぶ時間を設けました。家庭と学校が理解を共有することで、子どもたちの安全な学びと生活を支える力がより確かなものになると考えています。

参観後には、「SNS の利用の仕方については、家族でも話をしていました。親が言うよりも学校で学んだ方が理解してもらえる気がしました。家に帰ってきて、話をしてくれたので定期的にあのような学習があるとすごく良いと思いました。」「正しい使い方を大人がしっかり教えていくことが大事だと思います。子どもと一緒に考えていきたいです。」などの声を多数いただき、私たち教職員にとって大きな励みとなりました。

中休みには、地域学校協働本部の皆さまが企画してくださった長縄や市電の開放に、多くの子どもや保護者の方々が集まりました。学級や学年の枠をこえて楽しむ姿が見られ、地域の温かい支えが子どもたちの笑顔を引き出していることを改めて感じました。



こうした学びの広がりや、日々の学校生活にも息づいています。

先日スピーチコンテストでは、6年生の代表児童が「みんなの違いを認め合える平和な世界」をテーマに発表しました。自分の価値観だけで行動したり、噂話をうのみにして相手を評価したりすることが、人を傷つけてしまうことにつながると気づき、その経験や思いを真摯に語りました。聞く人の心に確かに届く、素晴らしい発表でした。子どもたちが他者を尊重しようとする姿勢を着実に育んでいることを実感する、貴重なひとときとなりました。

7 月には個人面談を予定しています。短い時間ではありますが、担任と直接お話しいただける貴重な機会です。学校での様子だけでなく、普段はなかなか伝えにくいことやご心配な点も、どうぞ率直にお聞かせください。ご家庭と学校が思いを共有し、子どもたちがよりよい方向へ進んでいけるよう、力を合わせていきたいと考えています。